

GET YOUNG FELLOWS!! YOUTH ACTION NEWS

2014年2月19日 No.3 日本医労連青年協議会 fax 03-3875-6270 E-mail: seinen@irouren.or.jp

「要求の木」で声をあげる!

山形県医労連青年部は、毎年春闘期に各単組で「要求の木」を作成しています。昨年は、11単組が参加、全体で1080枚の「要求」が咲きました。青年の思いが詰まった「要求の木」は、団体交渉でも大活躍、春闘を盛り上げています。

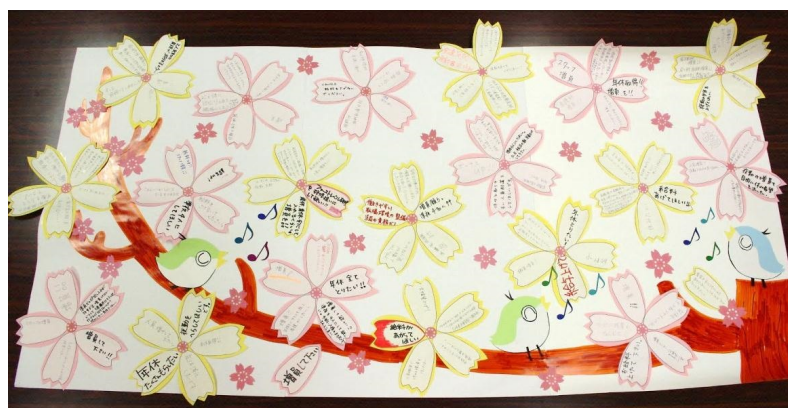
「賃金UP」「休みが欲しい」「職員増やして」「年休消化したい」「残業なくて」「託児所ほしい」・・・青年たちの要求は切実です。

人はだれでも、より人間らしく生きるために働いています。人間らしい生活のためには、お金と時間と仲間・家族などが必要です。「低賃金でも仕事があればありがたい」とか、「仕事をやりとげるには長時間の勤務もしかたない」なんてことはありません。私たちは、「働くために生きている」のではなく、「生きていくために働く」のです。いまの生活を楽しみ、明日を考えることができるためには、賃金・労働時間・休暇などの労働条件がまっとうでなければなりません。

職場に労働組合が存在する理由は、ひとりでは弱い立場に置かれている労働者がお互いに団結して、経営者と対等平等の関係で交渉することによって要求を実現するためです。

共通の「要求」で、交渉するためには、まず一人ひとりの思いや悩み、不満や怒りを声にあげることが必要です。はたらき続けられる職場をつくるために、みんなで声をあげていきましょう!!

(参考資料として、13年「要求の木」のまとめ、「要求カード」、開催のための委員会報告を添付しています)



春闘ってなに?

1950年代、全国の労働組合は、「労働者が生活に必要な賃金は企業の大小にかかわらず。ばらばらではなく全国一緒にたたかうことで、力を発揮できる」と話しあいました。これをきっかけにたたかいを大きく発展、毎年春に行なわれたことから「春闘」と呼ばれるようになりました。

各地地で創意工夫された取り組みを全国みんなで共有し運動を広げていくことを目的に、今年度も各地からのニュース・チラシなどを全国に配信していきます。青年部での取り組み情報はもちろんですが、「ここでも青年が頑張っている」など、たくさんの情報をお寄せ下さい。

seinen@irouren.or.jp まで